

N O R C ニ ュ ー ス

社団法人 日本外洋帆走協会

今年の鳥羽パールレースは、第 10 回の記念すべきレースであるので、昨年のような多端な、オール DNF といつたレースにならないように念願していたところ、念願叶つて、平穩すぎるほどの上天気となり DNF もなく全艇無事にフィニッシュ、しかも、クラス IV.V 艇は、クラス II . III 艇には勝てないというジinx を破つて、総合 1 位が TCF 0.707 のクラス IV 「VEGA III」 同じく 2 位が TCF 0.687 のクラス V 「VELA」、そして同じく 3 位も TCF 0.700 のクラス IV の「ドンドロ」であつたということは、まことにほほえましい結果でありました。

また、昨年は天候に恵まれなかつた関東支部主催の年中行事の「夏祭り」も好天に恵まれ、華麗にして多彩な前夜祭、豪華にして和やかな表彰式と、年ごとにぐんと盛り上りをみせ、早くも来年が待遠しいという声を聞くありさまです。

しかし、本年もいよいよ本格的台風シーズンに入り、第 9 号台風は、小型ながらも、九州から北海道まで、太平洋沿岸を掠めてすすみ、幾多の災害をばらまくという、異状なコースをとりました。これを露払いとして、気象庁が予報するように大型台風の当り年になるのではないかと、不気味なものを感じさせられています。「備えあれば憂いなし」、さすがは NORC の会員といわれますように、充分なる台風対策と準備をお願いする次第であります。

目 次

I	本 部	1
1.	才16回理事会開催報告	1
2.	才10回鳥羽パールレース経過報告	2
3.	本部連絡事項	6
(1)	年会費の納入について	6
(2)	計測委員会より	6
4.	よみもの「風」	8
II	関 東 支 部	10
1.	1969年度NORC関東支部「夏祭り」の経過について	10
2.	海洋教室実施報告	11
3.	相模湾ポイントレース(サマーシリーズ)成績表	13
4.	相模湾ポイントレース秋季親睦レース開催について	14
III	東 海 支 部	14
	(記事なし)	
IV	京 都 支 部	14
	(記事なし)	
V	内 海 支 部	15
1.	洲本レース報告	15

Ⅵ	西内海支部	16
	(記事なし)	
Ⅶ	会員及び登録艇	16
1.	会員及び登録艇の現状	16
2.	会員の異動	17
(a)	新入会員	17
(b)	住所又は勤務先変更	22
(c)	会員間の異動	23
3.	新登録艇の紹介	24
	あとがき	25

I 本 部

1. 第16回理事会開催報告

今回の理事会は、本部の専門委員長及び専門委員の選任を主目的とし、併せてこの機会に関東支部主催の「夏祭り」に他支部の理事の方にも参加して貰うという副次的目的によつて場所も日時も選定されたが、地方理事の出席が少なかつたことはまことに遺憾であつた。しかし、議事は極めて効果的に審議された。

記

日 時 昭和44年8月2日(土) 1300～1600

場 所 神奈川県三浦郡葉山町 葉山マリーナ

出席者 大儀見薫 高村信 関根久 外山賢三 横山晃 吉谷竜一 角田博
井上正春 土肥勝由

委任状 8 通

審議議案

才1号議案 NORC定款才27条及びNORC組織及び運営規程才2条に基く各専門委員会の委員の選定について

才2号議案 諸規則の改正について

(1) 安全規則

(2) レース規則

(3) 計測規則

才3号議案 定款才7条による入会者の承認について

才4号議案 各支部提案事項等について

以 上

2. 第10回鳥羽パールレース経過報告

レース帆走委員長 福吉信雄

才10回鳥羽パールレースは7月25日11:00時ヨセマル灯浮標より、クラスⅡ5隻、Ⅲ5隻、Ⅳ17隻、Ⅴ2隻伴走艇1隻の計30隻が一斉にスタートしました。

昨年は台風の影響で全艇リタイヤし、新聞、その他の風当りも強かつたので、本年は東海支部にお願いして、事前に記者会見などしてP、Rを完全にやつて貰いました。

恒例の前夜祭、今年は才10回目のレースでもあり、280人の大パーティとなり名古屋の短大のお嬢さん方のハワイアンバンドがパーティの雰囲気盛上げて呉れたのみならず、折からの鳥羽金比羅宮の祭りの夜に当りその花火も吾等を祝福してくれるようだった。佐藤レース副委員長の名司会のもと、大義見専務理事の挨拶、海上保安部の気象状況(99%シケは無いとの話)等があり、西内海、内海、京都、東海の各艇の紹介に引続き、飯島さんより、関東の各艇の紹介がありました。なにしろこの飯島さんの名調子のスピーチだけを楽しみに鳥羽レースに参加する人もある位、爆笑の連続、パーティも最高調になりました。又大西洋、太平洋を単独横断した鹿島氏と太平洋往復横断したチタグループにブルーウオーター賞が贈られました。

2130各々明日からの健闘を誓い乍らこの華々しい前夜祭はお開きになりました。

翌7月25日、東の風1~2mヨセマル灯浮標目がけて大小30隻のレース艇がさつそうと集まりました。

1100ラジオの時報と共に一斉にスタートし、「SIRENA」のみわづかにリコールするもすぐジャイブして好位置につける。

真中あたりからスタートした「MISS SUNBIRD」「CONTESSAⅡ」「竜王」「RED SHARK」等が好い位置をしめる。かなり強い上げ潮でその上クロスホールドなので小型艇は苦勞している。

才1日目は上りの微風各艇思い思いにタツクをくり返す。

日没時には「MISS SUNBIRD」「竜王」「CONTESSAⅡ」「RED SHARK」「天城」「ANNY」等がトップグループとなる。その中にクラスⅣの「VEGAⅢ」

がよく健闘して、トップグループから離れない。

夜はガスがかかり、視界悪く、殆んどの艇がショートタックをくり返す。風も東の微風なので、各艇懸命にがんばる。

23日風は東から南東にシフトし、2~3mから最高5~6m位迄吹く。

「MISS SUNBIRD」トップ「竜王」「CONTESSA II」「RED SHARK」と続く、「VEGA III」も7番手位につけて、総合優勝を狙う。

風はずつと吹き続き26日2235「MISS SUNBIRD」がトップでフィニッシュする。1時間少し遅れて「竜王」が入り、以下続々とフィニッシュし、27日1318

「GYPSY QUEEN」がフィニッシュ、スタート直后舵の故障でリタイヤした「うずしお」を除き、全艇無事フィニッシュした。やはり微風の為時間がかかったので、クラスIV、Vの艇が上位をしめしましたが、「VEGA III」と「VELA」の快走ぶりが印象的であつた。成績は別紙の通りです。

なお、「RED SHARK」の関根艇長より、「竜王」に抗議が出ました。

即ち、竜王のマストにブラックバンドのみ有つてストツパーが付いていながつたので抗議するという次第です。

レース委員会で検討した結果、5%のペナルティをとりました。

第 1 0 回 鳥 羽 パ ー ル レ ー ス 成 績 表

帆走委員長 福吉信雄

クラス	セーラー No	艇名	名	オナー	一ナ	艇長	T. C. F	到着時間		所要時間		修正時間		順位		参考 着順
								日	時分秒	時分秒	時分秒	時分秒	時分秒	クラス	総合	
II	188	CONTESSA II	石原 傑太郎	石川 昇	776	27 00 28 40	37 28 40	29 04 58	1	9	3					
"	380	MISS SUNBIRD	山崎 達光	山崎 達光	821	26 22 35 35	35 35 35	29 13 19	2	10	1					
"	606	智美	津野 守邦	津野 守邦	778	27 02 48 15	39 48 15	30 58 04	3	16	10					
"	355	L O T U S	金原 良一	金原 良一	794	27 02 09 39	39 09 39	31 05 37	4	18	9					
"	372	A N N Y	三橋 美智也	三橋 美智也	823	27 00 48 55	37 48 55	31 07 19	5	19	5					
III	616	RED SHARK	関根 久	関根 久	746	27 00 36 11	37 36 11	28 03 07	1	4	4					
"	615	天城	渡辺 修治	渡辺 修治	752	27 00 59 10	37 59 10	28 33 56	2	8	6					
"	807	やしろ	田中 敬一	田中 敬一	758	27 01 44 40	38 44 40	29 22 06	3	12	8					
"	600	竜王	陳 秀雄	陳 秀雄	767	26 23 48 52	36 48 52	29 52 20	4	14	2					
"	610	飛車角 II	名和 幸夫	周東 英卿	762	27 05 43 59	42 43 59	32 33 45	5	20	18					
IV	650	VEGA III	宮沢 英夫	宮沢 英夫	707	27 01 04 26	38 04 26	26 55 06	1	1	7					
"	73	トントン	前田 豊一	前田 豊一	700	27 03 00 59	40 00 59	28 00 41	2	3	11					
"	608	明日香	加藤 栄美	一色 忠之	702	27 03 03 52	40 03 52	28 07 31	3	5	12					
"	716	J O K E R	玉舎 輝彦	玉舎 輝彦	702	27 03 12 25	40 12 25	28 13 31	4	6	14					
"	179	SIRENA	大磯見 康	大磯見 康	706	27 03 18 23	40 18 23	28 27 23	5	7	16					
"	237	BUCCANEER	日比 正光	野沢 淳二	729	27 03 09 46	40 09 46	29 16 43	6	11	13					
"	394	MELUSINE	武部 喜一	武部 喜一	731	27 03 20 04	40 20 04	29 29 04	7	13	17					

クラス	セーブル No	艇名	オナー	一ナ	艇長	T. C. F	到着時間			所要時間			修正時間		順位		(参考) 着順	
							日	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒		クラス
IV	217	A Y A	都築勝利	利勝	都築勝利	. 707	27	06	31	43	02	31	30	25	50	8	15	19
"	618	だぼはげⅡ	土屋徳三	郎	肥丈志純	. 701	27	07	15	44	15	28	31	01	29	9	17	20
"	377	T A K I	浦野純	純	浦野純	. 723	27	08	43	45	43	40	33	03	40	10	21	21
"	178	NOA-NOA	富田潔	潔	渡辺忠弘	. 725	27	08	48	45	48	27	33	12	38	11	22	22
"	629	竜飛	岩瀬弘	弘	堀口信博	. 707	27	10	45	47	45	35	33	45	58	12	24	23
"	227	NAVY BLUE Ⅱ	角田博	博	角田博	. 708	27	10	57	47	57	14	33	57	05	13	25	24
"	315	OLYMPUS Ⅲ	落合公平	公平	落合公平	. 700	27	11	58	48	58	33	34	16	59	14	26	26
"	317	MAUPTI Ⅱ	岩田禎夫	禎夫	岩田禎夫	. 714	27	12	52	49	52	10	35	36	24	15	27	27
"	719	GYPSY QUEEN	脇尾誠一	誠一	井上正春	. 710	27	13	18	50	18	35	35	43	12	16	28	28
V	641	VELA	武田陽信	陽信	岡忠義	. 687	27	03	17	40	17	18	27	40	41	1	2	15
"	210	QUERIDA	浅見和也	和也	浅見和也	. 698	27	11	02	48	02	34	33	32	02	2	23	25
伴走艇	522	寅丸	谷川晴彦	晴彦	谷川晴彦	. -	27	04	34	40	34	50	-	-	-	-	-	-

D. N. F ~ うずしお (206)

入賞艇

1位

2位

3位

4位

総合 ~

VEGA Ⅲ

VELA

ドンドロ

クラスⅡ ~

CONTESSA Ⅱ

MISS SUNBIRD

-

" Ⅲ ~

RED SHARK

天城

-

" Ⅳ ~

VEGA Ⅲ

ドンドロ

明日香

JOKER

" Ⅴ ~

VELA

-

-

1ST HOME ~ MISS SUNBIRD

3. 本部連絡事項

(1) 年会費納入について

すでに会員の皆さんにお届けいたしました「NORC組織及び運営規程」により、協会の事務が規定化され、それに則つて処理されつゝありますが、その中でもつとも事務局が困惑しているのが年会費の納入遅延であります。

ご存知の如く、社団法人の運営はすべて会員の会費によつて賄われるのでありまして、諸経費の支払には遅延させることのできないものが数多くあり、会員よりの会費納入がなければ協会の信用を失墜させることになりかねないのであります。

そのため規程の第13条にも、年会費納入期を2月末日と明記し規定されているのであります。しかし、既にその期日を6ヶ月以上も経過いたしましたのに、未だ納入されない会員が約半もおられることは、まことに遺憾でありますとともに、事務局の苦衷まことに察するに余りあるものがあります。

まことに申し難いことではあります。社団法人の会員は、会員の唯一の義務である年会費の納入については、規定通り毎年2月末までに納入するように心がけていただきたいのであります。

特に、本年度年会費未納の方は至急にご納入願いますとともに来年度からは納期の励行について特段のご協力をお願いいたします。

なお、今後は会費未納入の方に対しては、4月以降のレース参加料は非会員並みに¥3,000とすること、及びレース参加賞も贈呈しないこととする等の処置をとりたいと考えておりますのでご了承を願います。

(2) 計測委員会報告

(a) レーティング一覧表について

東海・京都・内海・西内海の各支部所属艇のレーティング一覧表が出来上りましたのでお届けします。

9月1日以降に計測を実施した艇のレーティングについてはNORCニュース紙上で御紹介しますので会員各位においてレーティング一覧表にご記入下さい。

(b) 新レーティングの紹介 13隻

CLASS	SAIL No	艇名	RIG	RATING	T. C. F	R. S. F
II	380	MISS SUNBIRD	S	2 6.9 8	0.8 2 0	627.6 (改造)
III	157	BLUE RIBBON	K	2 0.9 8	0.7 5 8	678.5
"	636	CARINA II	S	2 0.9 1	0.7 5 7	679.2
IV	377	TAKI	Y	1 7.6 7	0.7 2 0	714.0
"	384	TRUTH	S	1 6.1 9	0.7 0 2	732.2
"	625	AIOLA II	S	1 9.6 5	0.7 4 3	691.9
"	628	LE MISTRAL	S	1 7.1 4	0.7 1 4	720.3
"	642	KELONIA II	S	1 6.0 8	0.7 0 1	733.6
"	650	VEGA III	S	1 6.5 9	0.7 0 7	727.1
"	651	CIMA	S	1 6.6 5	0.7 0 8	726.3
V	633	TINKERBELL	S	1 3.4 7	0.6 6 7	771.1
"	644	そよかぜ	S	1 4.8 1	0.6 8 5	751.0
"	654	BARBA ROSSA	S	1 5.9 7	0.7 0 0	735.1

(c) 活動報告

○ 1969年度上半期(1月~6月)計測艇 28隻

(但し確認計測を除く)

「ひろ」 「JOUR」 「VELA」 「SAMOA」 「天城」 「竜王」
「KELONIA II」 「BARBA ROSSA」 「TRUTH」 「そよかぜ」
「MISS SUNBIRD」 「AIOLA II」 「VEGA」 「TAKI」 「寅丸」
「BLUE RIBBON」 「CARINA II」 「SEA CROWN」
「竜王(改造)」 「GIPSY QUEEN」 「屋代」 「EPICURIAN」
「あや」 「しやち」 「BUCCANEER」

○ 計測研究会

毎月1回開催されてきました「計測委員会」は、9月より「計測研究会」と名称を改め、計測委員並びに計測員を中心に図面計測、計測に関する打合せ、新計測ルール

並びに実証計測の研究等を下記の通り行います。

尚、計測について御質問等がありましたら研究会まで御遠慮なくお越し下さい。

計測委員／計測員が説明致します。

計測研究会開催日：

9月17日(水) 11月12日(水)

10月8日(水) 12月10日(水)

場所：船舶振興ビル 10階会議室 1830～

(周東記) 4 4.9.9

4. よみもの 「風」

(4) 秋の風

古今六帖に「吹き来れば身にもしみける秋風を色なきものと思ひけるかな」と紀友則の歌にあるように、秋の風は華やかさはなく、寂しさが身にしみるような性質のものであるという事は昔も今も変りはないのであつて、それだけに秋の風に対しては情緒的な表現が多く、風向による表現などは他の季節の場合のように多くない。しかし年間を通じて、最も怖るべき台風もこの季節に属し、ヨットマンにとつても最も関心の深い季節ということができよう。一般に秋の風は、真夏の暑さから開放されて心地よい爽やかさを感じさせてくれるので、秋風のことを金風とか爽籟と美化して呼ぶ人もありこれらの語には秋風本来の「さびしさ」など感じさせない快さがある。

×

×

「台風」は秋ばかりでなく早いものはすでに5月6月頃に才1号が南方洋上にできることもあるが、これらは比較的日本本土へ上陸するものは少ないが、秋の台風は、日本本土来襲の機会が多いので秋の風とされているのである。何れも南洋諸島に発生する低気圧に伴う暴風雨で、北半球では反時計廻りのうず巻状の台風圏を作り、その形状のまま発達したり、衰弱し、人の世に幾多の災害を与えながら移動する。台風という語は、近代になつて与えられたもので、古くは「野分」(のわき)と呼ばれていたもので、野原の草を吹き分ける大風であるので「のわき」と呼ばれたものであろう。ときには「秋の嵐」ともいわれるが、「のわき」

の方がより強いものとされていたようである。

又台風が遠方を通過した場合などの比較的弱い風の場合は初秋であると「初嵐」又は「秋の初風」などといっている場合もある。

×

×

孟蘭盆の頃に東風が吹くことがあるがこれを特に「盆東風（ぼんごち）」と呼び、孟蘭盆を送つてから吹く風のことを近畿以西の船乗りたちは「送るまぜ」と呼んでいる。伊豆や鳥羽の漁師たちは盆の後になつて吹く南風のことを「おくりまじ」とよく似た表現を用いている。この「おくりまぜ」又は「おくりまじ」は北陸方面から5月末頃に瀬戸内海に商用のために300隻もの船団をつくつて来航している帆船の北前船が、商用を済ませて、再び北陸へ帰るのに、この頃に吹く南風を利用するので、「おくりまぜ」の名ができたもので、帰航に際しても遭難をすくなくするために50隻以上の船団を編成してかえつたということである。

×

×

地方独特の呼び名では、西日本各地では秋の南東強風のことを古くより「おしあな」と呼ばれており、語源としては「あなじ」の押し返しという意味であろうといわれている。また愛媛県では時おり局所的の強風が吹くことがあつて稲作に被害を与えることがあり、これを「やまじ」といつて農民に怖れられている。またこれに類する強風で黍の穂を吹き倒さんばかりに吹くので「黍嵐」と呼ばれるものもある。

東北ではこの頃鮭が産卵のため川を溯つて来る時期にあたり、この頃野分めいた風が吹く場合、これを「鮭おろし（さけおろし）」と名付けているのもおもしろい。

×

×

初秋の頃の南寄りの風も9月10日にかけて急に北西の風に変る。この風を「高西風（たかにし）」というのであるが、綜合民族語彙に「九州、山陰はほとんど北西風をいい、瀬戸内から、四国南岸、大隅半島の島々にかけては南西の風をいつている。高い^ねというのは子の方、すなわち正北に近いことを意味する」とある。これと同じ風を内海地方では「たち」又は「おおにし」とも言つている。農村でいう「もみおとし」も風がつよくて籾が落ちるといふことで同様の風のことがいわれている。

また船乗を恐れさす風に「土用時化（どようじけ）」があつて四季の土用のうち特に秋土

用に吹く西風のことをいゝ突然吹き出すために怖がられていたものであろう。

このように突然吹き出す北西からの強風を越前海岸では「あらせ」ともいゝ、能登ではこうした強い西風を「たまかせ」といつており、また同じ風を九州西部では「たばかせ」などと呼んでいる。

×

×

秋の風に最もふさわしいと思われる呼名に、秋もようやく深まつて、沖から見る岬には羊の群れの様な尾花が風にそよいでをり、高い空を雁の列が整然と渡つて来る頃に吹く北風を「雁渡し（かりわたし）」又は「青北風（あおきた）」と呼んでいるがいかにも文学的な表現であり、秋風の淋しさを深く感じさせる情緒に富んだ呼び名ではある。

×

×

「秋風」の中には、男女間に吹く秋風もあるようであるが、この秋風は「倦風」であることは皆さんご存知のとおり。

×

×

以上をもちまして四回にわたりました「風」の稿を終ることといたします。

II 関東支部

1. N O R C 関東支部「夏祭り」の経過について

だれが唱えだしたのか「ヨット乗りは皆友達だ!!」の合言葉のもとに予定通り8月2日19.0.0より楽団奏する所の近代音楽(?)と共に開会、集まるわ集まるわ……で真夏の夜の宴は刻々と賑わいを呈し、山積みの各種飲み物は各人の卓上に移り、古屋副会長の挨拶もときれ勝ちの歓声振り、平素の謝恩とばかり飯島常務理事の妙を得た参加女性群の紹介と讀詞振りに一段と雰囲気もり上り、遂にゴーゴー乱舞の盛況、ホット意気つく間もなく夏空に舞い上る花火の追打ち、続いてキャンプファイヤーを囲んでの高潮の一瞬で漸く終宴の兆をきたし、「LOTUS」と「ALPAGUE」両艇の船上パーに吾れも吾れもと馳せ参じての前夜祭振りでした。

翌3日は本部並びに関東支部の上期レース入賞艇の表彰式・古屋副会長より各入賞艇に授

与、次いでレース参加全艇と乗員（会員に限定）にレース参加記念品を贈呈し万来の拍手のもとに式次第は終了、13.30より、お待ちかねの海上競技に移り、各フリート対抗のデインギーレースに声援の応酬振り、続行のレースは大型貨物船入港接岸のため残念乍ら取り止めとなり、15.00事故なく一切の行事終了しました。

会員各位多数のご参加と寄せられました数々のご支援によりまして、本年は誠に盛会を極め得ましたことを厚くお礼申し上げます、又その半面不行届きの点も多々生じたこととお詫び申上げ、より以上の成果をもたらす来年の夏をお互に元気で迎えたいと念じております。

この行事の各部所担当下された皆々様に改めて心からお礼申し上げます。

実行委員長 名和幸夫

◇ 夏祭り参加記念品の頒布について

上述夏祭りに参加記念として配布いたしましたNORCマーク入りの「スミノフカップ」ご希望の向に下記価格でおわちしますから本部へ代金引替えてお申込み願います。

価格 ～ 1個 ￥150

2. 海洋教室実施報告書

海事普及委員長 落合公平

概況

参加者 20名

協賛艇 9艇

(「足柄」「SALMON II」「SHARK X」「さがみ II」「飛車角 II」
「だぼはぜ」「RED SHARK」「明日香」「OLYMPUS III」)

実施航程 小網代→江の島 往復

実施日時 4.4.8.24 0900～1700

申込者総数37名、実参加者20名、実に17名の無断欠席者のあつたことは本事業始つ

て以来の不成績であり、充分なる連絡方法等（受付の電話を欠席の場合するよう番号を知らせた）周知したに拘らず此の不首尾は誠に遺憾である。万般の準備をされ参加された各艇の一部には割当要員に満たず折角の協力意欲の出鼻をくじかれた感を持たれた事と存じます。担当委員として深くお詫致します。（なお参考のため日本海洋少年団連盟よりの詫状を添付します。）訓練は定刻1000スタート江の島に向い、S. S E 3 ~ 5 m/s 曇時々晴の好条件下に順調に終始此の間各艇、操舵、操帆の実習を受講者に行い1730無事完了した。然し出欠に見られる受講者の意欲の例年に無い乏しきが参加者の一部、特に若い人達の間に見られ、実習態度も積極性に欠けたのは大変残念に思う。今後の教室の在り方（募集方法）に一考を要す。

会計報告

収入

参加会費（一般） $500 \times 17 = 8,500$ 円

支出

協賛艇謝礼 1,900 0

ハーバー使用料 1,400 0

計 2,040 0

差引欠損 1,190 0

昭和44年9月2日

日本外洋帆走協会
会長 関谷 健哉 殿

社団法人 日本海洋少年団連盟
会長 山 県 勝 見

拜啓 残暑なおきびしき折益々御清勝のことと存じます。

さて、海洋少年団運動につきましては、日頃何かと御理解ある御協力を賜わり誠に有難く厚く御礼申し上げます。先般貴協会の御協力でクルーザー教室を開催するに当り御協力下さいまして誠に有難うございました。当日はなにかの都合にて半数以上の不参加者を出し貴協会ならびに参加艇の皆様にお迷惑をおかけしましたことは誠に申しわけなく思います。

早急に不参加の理由を調査し貴協会に御連絡します。

先は書中を以て御詫び申し上げます。

敬 具

3. 相模湾ポイントレース (サマーシリーズ) 成績表

クラス	艇名	クラス別			混 合			総 合		
		各 回 №	Sr	NO	各 回 №	Sr	NO	各 回 №	Sr	NO
II	智 美	3 - 1 - 2	58	①	8 - 4 - 8	25	7	10 - 8 - 16		
	潮 風 III	1 - 2 - 3	58	②	5 - 5 - 9	27	6	7 - 10 - 17		
	CONTESSA II	2 - DNS - 1	42	3	7 - DNS - 6	16	9	9 - DNS - 12		
	LOTUS	4 - DNS - 4	26	4	12 - DNS - 11	5	13	24 - DNS - 22		
III	足 柄	3 - 1 - 3	55	①	3 - 1 - 3	55	①	3 - 1 - 5		
	飛車角 II	2 - 3 - 4	48	②	2 - 3 - 4	48	②	2 - 6 - 6		
	竜 王	1 - DSQ - 1	46	③	1 - DNS - 1	46	③	1 - DSQ - 1		
	はやまる	5 - 2 - 5	41	④	6 - 2 - 5	39	④	8 - 4 - 8		
	月光 II	4 - 5 - 6	33	5	4 - 7 - 7	27	5	4 - 13 - 14		
	さちかぜ	6 - 4 - DNS	22	6	9 - 6 - DNS	14	10	12 - 12 - DNS		
	TILDE	7 - 7 - 7	21	7	10 - 9 - 10	13	11	22 - 20 - 20		
	ASAHI	8 - 6 - 10	19	8	11 - 8 - 14	11	12	23 - 19 - 29		
	雲 仙	DNS - DNS - 2	19	9	DNS - DNS - 2	19	8	DNS - DNS - 4		
	AIO LA II	DNS - DNS - 8	6	10	DNS - DNS - 12	2	16	DNS - DNS - 24		
	竜王丸	DNS - 8 - DNS	6	10	DNS - 10 - DNS	4	14	DNS - 21 - DNS		
	NEPTUNE IX	DNS - 9 - DNS	5	12	DNS - 11 - DNS	3	15	DNS - 26 - DNS		
	ブルーリボン	DNS - DNS - 9	5	13	DNS - DNS - 13	2	18	DNS - DNS - 28		
	CARINA II	DNS - DNS - 11	3	14	DNS - DNS - 15	2	17	DNS - DNS - 32		
IV	CIMA	1 - 2 - 2	61	①	1 - 3 - 2	58	①	5 - 5 - 3		
	VEGA III	DNS - 1 - 1	46	②	DNS - 1 - 1	46	③	DNS - 2 - 2		
	竜 飛	7 - 3 - 3	39	③	10 - 4 - 4	30	⑤	19 - 7 - 9		
	MELUSINE	4 - 4 - 4	38	④	5 - 6 - 5	31	④	14 - 11 - 10		
	KELONIA II	5 - 5 - 6	31	5	7 - 8 - 8	19	8	16 - 15 - 15		
	ダボハゼ II	2 - 7 - 9	31	5	3 - 12 - 12	20	7	11 - 22 - 23		
	SIRENA	6 - 6 - 5	29	7	9 - 9 - 7	17	10	18 - 16 - 13		
	SHARK X	3 - 9 - 8	27	8	4 - 14 - 10	19	9	13 - 24 - 19		
	MOSSA III	8 - 10 - 11	13	9	12 - 15 - 14	6	16	21 - 25 - 26		
	TONGA	10 - DNS - 7	11	10	14 - DNS - 9	7	14	26 - DNS - 18		
	桜 工	13 - 8 - 14	10	11	17 - 13 - 18	6	15	29 - 23 - 33		
	SUNGO	9 - DNS - 15	7	12	13 - DNS - 19	4	17	25 - DNS - 34		
	エメラダ	11 - DNS - 13	5	13	15 - DNS - 17	4	19	27 - DNS - 31		
	SEA CROWN	DNS - DNS - 10	4	14	DNS - DNS - 13	2	21	DNS - DNS - 25		
	JOUR	12 - DNS - 12	4	15	16 - DNS - 16	4	18	28 - DNS - 30		
OLYMPUS III	DNS - 11 - DNS	3	16	DNS - 16 - DNS	2	20	DNS - 27 - DNS			
V	VELA	1 - 1 - 1	69	①	2 - 2 - 3	54	②	6 - 3 - 7		
	彩 雲	2 - 4 - 2	51	②	6 - 10 - 6	22	6	15 - 17 - 11		
	TINKER BELL	4 - 5 - 4	37	3	11 - 11 - 15	8	13	20 - 18 - 27		
	そよかぜ	DNS - 2 - 3	35	4	DNS - 5 - 11	14	11	DNS - 9 - 21		
	SAMOA I	3 - 3 - DNS	32	5	8 - 7 - DNS	13	12	17 - 14 - DNS		

4. 相模湾ポイントレース秋季親睦レース開催について

NORC関東支部相模湾ポイントレース運営委員会

関東支部相模湾ポイントレース、“サマーシリーズ”は記録的な参加艇を得て無事終了しました。今年度レース日程ではポイントレースはこれで終了し、10月12日及び11月16日の2回にわたり神子元島シリーズ・レースの一部として同レース参加艇のみによるポイント・レースが行われます。

神子元島レースに参加しない艇及び参加できない艇(クラスV)によるポイント・レースを上記レース日2回にわたって“秋季親睦レース”として開催することが決まりました。レース施行運営等はサマーシリーズ・レースと全く同じように行い予定です。

此の親睦レースは神子元島シリーズ・レースといつしよに行いますがスタート時間等に関する事項は別になりますので細部は上記レース日前夜9時より行い艇長会議において決定発表します。

神子元島シリーズ・レース参加艇の熱戦を観戦かたがた秋の相模湾にて“親睦レース”を楽しみたい有志艇はふるつて参加して下さい。賞盃も充分用意いたします。

記

レース日 1969年10月12日(日) 11月16日(日)

艇長会議 1969年10月11日(土) 11月15日(土)

於油壺ヨッテル

III 東海支部

(記事なし)

IV 京部支部

(記事なし)

V 内海支部

1. 洲本レース報告

樽谷 博記

従来の洲本レースは、今年から「オープンレース」として、広くヨット・マンに参加して戴き、楽しいヨットレースを催すとの計画で呼びかけたので、予想通り18艇の参加、往年の盛況を取り戻した。開催にあたり、KYC（関西ヨットクラブ）の小林支配人、宮川理事の助言、内海支部レース担当の合田督氏の指導に依り成果を収めた事、特に今迄は各オーナーにレース案内状のみに頼っていたが、今回は合田氏自筆のポスターが「西宮」「二色」「須磨」「的形」の各フリートに掲示され、締切りに予想以上の出艇をみたこと、NORC内海支部主催の洲本レースに共賛していただいたKYC、関西ヨット協会のご協力に感謝して居る次第です。

8月17日0400スタートの洲本レース残念ながら風に恵れず今年も昨年同様NRで終わった事は返すがえす残念でした。

レースの様様はおゝむね次のようでありました。

レース開催の8月17日を前に、参加艇の中新艇クルーザー「瀬戸」32呎（西宮フリート）は、前後二回に亘り西宮～洲本間を帆走する。熱の入れ方、主催者側として自信を得た次第で、一番懸念したのは従来の夜間帆走（2300スタート）が昼間帆走（0400スタート）に変更した事である。

16日（土）KYCにて、オーナー会議、続いて松木哲先生の安全規則講義、前夜祭が賑々しく催され、各艇の自己紹介で終了。

翌17日（日）0400コミッター・ポート「ストラップ」よりの宮川KYC理事の今図で一斉スタート、北東の風に乗りスタート、同時に洲本港へコミッター・ポートとして内海支部、永田敏明氏の御好意に依る自艇「黒潮丸」に同乗させていただき、浜永帆走委員長と共に洲本へ向つた。0900洲本港着小憩後、港外の定位置につき、レース艇の到着を待つた。

1300無縁にて「瀬戸」を呼び出したところ、西宮スタート約2時間後、風が次第に落ち、潮（北流）に流され殆んど艇が明石海峽にあるとの事、続いて1300淡路島飯屋沖より、同じく「瀬戸」がレース棄権し、機走にて洲本港へ向うとの報せ、18艇中泉州沿針路を取

つた。「しろみね」「でんぶく」が洲本港東北に姿を現す。タイムリミット(1600)の関係で「でんぶく」は棄権、「しろみね」は帆走して、フィニッシュ・ラインに入つたので1625タイム・オーバー、今年も洲本レース全股NRとなり終了した。

Ⅵ 西内海支部

(記事なし)

Ⅶ 会員及び登録艇

1. 会員及び登録艇の現状

44.9.1現在

	特別会員	正会員	準会員	TOTAL	登録艇
関東支部	162	522	63	747	173
東海支部	29	90	6	125	31
京都支部	13	25	3	41	16
内海支部	39	76	24	139	38
西内海支部	14	36	0	50	9
TOTAL	257	749	96	1,102	267

2. 会員の異動

a 新入会員

会員 No	氏名	〒	住所 (TEL)	勤務先 (TEL)	フリート	所属	誕
(特別会員)							
69-099	菊池 淳二	039-51	青森県むつ市大湊浜町14-10 (01752) 4-1276	菊池医院 (01752) 4-1276	(大湊)	(659) JUN	
69-100	八木 進	210	神奈川県川崎市大島町4-9 (044) 22-2938	八木商事 (044) 22-2938	シーボニア	(662) 妙義	
69-109	田中 淳	235	神奈川県横浜市磯子区汐見台1-6-8 1608棟844号(045) 761-0268	㈱田中建築事務所 (453) 2431	"	LADONNA II	
69-116	加藤 卓二	170	東京都豊島区西巣鴨3-850 (917) 8335	㈱トキワ (917) 2696	横浜	(665) トキワ	
69-119	小熊 勇	410	静岡県沼津市大岡太田2132	東芝機械沼津事業所才一機械課 (0559) 62-5240	沼津	(671) 智虎	
69-120	雷永 幸太郎	230	神奈川県横浜市鶴見区馬場町320 (581) 0559	富永商店 (581) 0558	シーボニア	(672) MANDARIN DUCK	
69-121	中谷 林平	102	東京都千代田区平河町2-23 (261) 5668	安全自動車整備㈱ (403) 2561	油壺	(457) BLUE RIBBON	
69-123	窪山 善右衛門	107	" 港区南青山1-24-2 (408) 3080	窪山歯科医院	シーボニア	(664) TOSHI	
69-140	中村 靖	173	" 板橋区上板橋2-16-1 (933) 6767	セントラル資材㈱ (581) 1151	"	(686) CARINA II	
69-145	高野 和郎	144	" 大田区上池台4-16-12 長原ハイソ (729) 8225	昭和大学病院外科 (784) 1151	"	(675) JOY	
(正会員)							
69-101	落合 輝興	238	神奈川県横浜須賀町1-16 (0468) 22-0257	東京電気物品質管理課 (711) 6111	シーボニア	SAMOA II	
69-102	大塚 務	112	東京都文京区春日2-4-5隣川マ ンション (811) 8137	久米建築事務所 (572) 1401	"	彩雲	

69-104	今井 彪	221	神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢下町11-1-6 (045) 491-2906	ニュー港北自動車 (622) 7899 (6008) 6008	シニア ポニー	JOUR
69-105	高橋 基	180	東京都武蔵野市吉祥寺東町3-10-4 小山方 (0422) 22-6796	成蹊大学 (在学)	油 壺	ANNY
69-106	小林 則子	120	" 足立区梅田1-16-12 (887) 0850	A P通信社 (201) 2801	小網代	KELONIA II
69-107	戸室 浩三	154	" 世田谷区板橋2-11 三菱商 事千歳南寮 (483) 2334	三菱商事(株)化学品才1部 石油化学才3課 (211) 0211	シニア ポニー	BARBA ROSSA
69-110	近藤 弘治	114	" 北区住宅公団赤羽台団地 53-633号	(株)中建築事務所 (453) 2431	"	LA DONNA II
69-111	福島 貢	280	千葉県千葉市花見川7-5-401	"	"	"
69-112	田路 敏秀	143	東京都大田区北馬込1-15-1 (772) 5393	"	"	"
69-113	青木 克彦	174	" 板橋区赤塚新町2-13-21 (930) 4881	(株)GOPデザイン事務所 (400) 0644	葉山	VEGA III
69-114	塚本 次郎	167	" 杉並区 沼1-33-1	台東浅草橋五郵便局 (861) 9943	"	"
69-115	宮井 成悟	177	" 練馬区南大泉町345 (924) 8219	東京部品サービス(株)品川営業所 (471) 2258	小網代	飛車角 II
69-117	森戸 浩	166	" 杉並区高円寺北3-5-14 (337) 3529	常盛観光(株) (337) 3529	横浜	トキワ
69-118	加藤 隆夫	170	" 豊島区西巣鴨3-850 (917) 8335	立教大学 (在学)	"	"
69-124	藤村 紀雄	251	神奈川県藤沢市片瀬1537-5	江の島ヨットクラブ (0466) 22-0261		
69-125	植木 勝水	154	東京都世田谷区野沢4-21-15 深井ビル (424) 6561	自家営業 (572) 0071	油 壺	あきつき
69-126	福本 威	240-01	神奈川県横須賀市佐島565 (0468) 56-0068	小松電子金属 (0463) 22-1313		
69-128	塩谷 信幸	231	" 横浜市中区山手町268 (045) 622-3771	横浜市立大学病院形成外科 (045) 261-5656		
69-129	杉田 巧	238	" 横須賀市小矢部町1-4-5 (045) 881-7171	ポラー化成工業(株)技術課 (045) 881-7171	小網代	飛車角 II
69-130	長谷川 敬二郎	152	東京都目黒区東ヶ丘1-5-2 (411) 2322	(株)長谷川歯車 (411) 2322	シニア ポニー	CIMA

会員№	氏名	〒	住所 (TEL)	勤務先 (TEL)	フリート	所	所 産
69-131	藤井 康久	154	東京都世田谷区下馬 6-43-9 (411) 3572	日本大学法学部 (在学)	シーボニア	CIMA	
69-132	岩崎 静雄	153	" 目黒区下目黒 2-16-11 (492) 3429	(財) 日本自動車査定協会 (468) 3301	葉山	SEA CROWN	
69-134	松本 さと子	182	" 調布市上石原 3-35 (0424) 82-7102	(株) 文士総務局総務課 (267) 1111	諸磯	OLYMPUS III	
69-135	福原 隆史	141	" 品川区平塚 2-10-14 松岡方 (781) 9598		油壺	月光 II	
69-136	杉村 昭雄	244	神奈川県横浜市戸塚区下倉田 1305		小網代	飛車角 II	
69-137	副島 恒雄	238	" 横須賀市緑ヶ丘 1 (0468) 23-1188	副島医院 (0468) 23-1188	諸磯	TAKI	
69-139	磯貝 均	271	千葉県松戸市松戸 1-1189 (0473) 62-2502	青山学院大学経営学部 (在学)	江の島	MAUPITI II	
69-141	川鍋 恒雄	174	東京都板橋区富士見町 33 才三富士 見団地 9-506(962) 2946	関東コンクリート(株) (987) 2801	シーボニア	CARINA II	
69-142	村井 一	150	" 渋谷区鶯谷町 5 (461) 7319	日本大学 (在学)	"	つばき	
69-143	星野 久也	158	" 世田谷区玉川奥沢町 1-414 (718) 0198	"	"	"	
69-144	熊谷 武美	150	" 渋谷区神宮前 5-12-3 川上方 (400) 6417	亜細亜大学 (在学)	"	"	
69-146	倉本 兼治	156	" 世田谷区松原 5-40-12 (328) 1035	東洋インキ製造(株)越工場技術課	"	そよかぜ	
69-147	山本 悟	154	" " 新町 2-29-26 (429) 6470	舟艇協会出版部 (562) 5966	"	CYCLONE II	
69-148	浦永 直樹	231	神奈川県横浜市中央区上野町 4-132 (045) 621-2207	才一屋製パン(株)工機課 (731) 0103	"	竜王	
69-149	千田 敏夫	131	東京都墨田区八広 1-10-15 (617) 3435	日立家電研究所デザイン課 (0423) 22-1111	"	"	
69-151	戸谷 寿男	133	" 江戸川区南小岩 3-14-17 (657) 6736	㈱ニッソン (563) 5806~8	"	SIMPLO I	
69-152	倉本 佳子	156	" 世田谷区松原 5-40-12	(財) 日本科学技術連盟企画部 (341) 5221	"	そよかぜ	

(準 会 員)

69-103	金 田 泰 明	248	神奈川県鎌倉市稻村ヶ崎1-13-24 (0467) 22-5170	早稲田大学 (在学)	油 壺	おうりゆう
69-108	村 上 彰	145	東京都大田区田園調布1-26-6 (750) 8725	成蹊大学 (在学)	"	SIRENA
69-122	林 繁	160	" 新宿区柏木1-194 (368)8540	"	"	LOTUS
69-127	小 谷 俊 介	167	" 杉並区西荻窪1-18	"	"	"
69-133	三 石 利 光	188	" 北多摩郡久留米町大字下里 1333-1-2 (0423) 62-5011	日本住宅公団南多摩開発局総務部 (0423) 62-5011	網 代	SUNGO
69-138	長谷川 純 一	110	" 台東区台東1-14-10 (831) 7416	慶応義塾大学 (在学)	諸 磯	TAKI
69-150	飯 田 幸 次 郎	232	神奈川県横浜市中区蓬萊町3-104 (045) 261-1321	浅野学園高等科 (在学)	油 壺	TAIYO
69-153	小 林 隆	240	" " 保土ヶ谷区桜ヶ丘 169 (045) 331-0774	関東学院大学 (在学)	シ ー ボ ー	MISA

内 海 支 部

139	◎貝島 寿 夫	659	兵庫県芦屋市翠ヶ丘町19-7-203 (0797) 22-7959	三菱重工神戸造船所見積計画課	須 磨	(66) 伊邪那美
140	谷 中 宏 延	655	" 神戸市垂水区馬場通6-9 (078) 77-5429	甲南大学 (在学)		
142	◎橋本 景 之	552	大阪市港区港嘴2-9-26 (572) 7651	橋本商店		(529) HAWK
143	◎橋本 公 宏	563	大阪府池田市天神1-6-12 (0727) 61-9629	大央工業㈱ (06) 471-4176-9		(531) 来 国 光
144	中 村 好 男	606	京都市左京区下鴨森ヶ垣内町11 (075) 781-1537	㈱大阪ロイヤルホテル (06) 448-1121		

東 海 支 部

168	内 田 四 郎	431-02	静岡県浜松市篠原町13887-2	ヤマハ発動機㈱設計課 (05359) 4-1211		
169						

会員 No	氏名	〒	住所 (TEL)	勤務先 (TEL)	フリート	所属	誕
170	田口参之	458	名古屋市緑区碧海町尾崎山43-209 三菱重工才5 菱屋寮S-209 (621)	三菱重工才5 菱屋寮S-209 (621) X T-2 (611) 2111	鬼崎	伊勢	
171	小島治久	462	" 北区光音寺町字野方 1907-335 (911) 7775	名古屋学院大学 (在学)	"	PETTY PRINCE	
172	千賀歳貢	448	刈谷市大字小垣江字塩浜2	㈱豊田自動織機製作所 (0566) 21-2511	衣浦	EPICUREAN II	
173	神原武	475	半田市仲田町176 (0569) 21-6072	東海木管回収㈱ (0669) 21-1350	"	"	
京都支部							
64	△柏本昭夫	558	大阪市住吉区万代東6-1		ビフコ	VICTORY	

(b) 住所変更

会 員 No.	氏 名	新 住 所
関 東 支 部		
(特別会員)		
1 2 0 3	陳 秀 雄	神奈川県横浜市鶴見区榎山1-1-8
0 1 2 5	池 野 成	東京都保谷市ひばりが丘1-11-13
5 5 3 5	岩 田 禎 夫	神奈川県鎌倉市腰越5-13-24
6 1 9 0	五 嵐 正 彦	" 横浜市南区六ツ川3-113 日本航空南社宅C-401号
3 4 0 2	中 島 伸 之	大阪府吹田市千里山西4-33-36 野村様方
4 4 8 5	森 輝 夫	神奈川県横浜市西区南幸町2-16-1 南幸公園住宅6-626号
(正 会 員)		
7 8 5 8	橋 本 正	神奈川県茅ヶ崎市香川字南347-27
6 8 - 9 8 9	平 岡 邦 彦	" 横浜市戸塚区柏尾町1120 益田荘
4 0 6 9	五十嵐 保 夫	" 三浦郡葉山町下山口1502
6 7 2 9	石 合 幸 彦	東京都江東区深川佐賀町1-4 公団深川佐賀アパート612号
6 8 - 0 9 5 6	木 村 博 信	東京都大田区上池台5-25-1
6 9 - 0 1 9	加 藤 文 彦	" 練馬区練馬4-6-15 マンション雅風1号
6 6 2 4	松 浦 信	" 立川市曙町3-216 防衛庁官舎146号
6 9 - 0 2 9	宮 崎 実	神奈川県横須賀市津久井166 大釜様方
5 5 6 2	柴 田 俊 彦	埼玉県大宮市北袋2-185 小林マンション7号
3 4 1 0	鮫 島 昭	東京都渋谷区代々木4-5
5 6 0 0	須 藤 豊 治	埼玉県草加市栄町1410 草加公園団地A街区12-205号
6 8 - 1 0 0 5	添 田 就 正	神奈川県鎌倉市材木座2-7-20
1 2 1 2	武 市 俊	" 茅ヶ崎市浜見平9-4-502
7 7 6 3	高 原 猛	" 横浜市中区仲尾台69
8 1 1 7	武 田 光 弘	東京都町田市鶴川町2-12-4
6 8 - 9 1 9	山 本 政 善	静岡県加茂郡下田町柿崎海岸通68-9 黒船ホテル内

会 員 No	氏 名	新 住 所
0061	柏 村 勲	東京都杉並区永福4-8-10
5553	神 服 巖	東京都三鷹市下連雀387 泰成マンション31号
6608	福 山 和 男	" 世田谷区新町2-36-7
7866	池 田 友 彦	神奈川県逗子市桜山8-15-20
6628	田 口 勝 久	埼玉県与野市大戸33
(準 会 員)		
6637	渡 辺 康 夫	宮城県仙台市北一番町144 堀田様方
68-0916	柏 村 比良久	東京都杉並区永福町4-8-10
内 海 支 部		
44	花 岡 威 夫	大阪府枚方渚元町26-37
82	中 井 洋	兵庫県西宮市甲子園口2-8-5
87	竹 内 啓 介	" " 南越木岩町1
90	◎塩見 勝 茂	" 神戸市兵庫区菊水町7-51

C 会員間の異動

支 部 名	会 員 No	氏 名	所 属 艇
(正 会 員 より 特 別 会 員 へ)			
関 東 支 部	7771	船 越 康 夫	(668) AURORA
"	7842	原 与 志 胤	(663) MAX
"	3348	岡 村 欣 一 良	(390) MI-MI
京 都 支 部	16	北 岡 正 一	(703) MARILIA
(準 会 員 より 正 会 員 へ)			
関 東 支 部	68-0976	浜 名 達 雄	SHARK X
"	6700	今 岡 又 彦	MAUPITI II
"	68-0902	池 内 貞 二	WATER BABY
"	68-0956	木 村 博 信	RED SHARK
"	6709	横 塚 典 行	OLYMPUS III
内 海 支 部	113	佐 藤 征 司	

3. 新登録艇の紹介

支部	セール No	艇名	RIG	クラス	L O A × L W L × B × d	オーナー	フリート
関東	157	BLUE RIBBON	K	Ⅲ	8590×	中谷 林平	油壺
	300	CONPIRAH	K			安藤 彦郎	"
	321	SEAFARER Ⅱ	S	V	20' 00"×16' 7½"×6' 6¾"×4' 70"	高橋 靖裕	シー ボニア
	390	MI - MI	"	Ⅳ		岡村 欣一郎	(静岡)
	508	WANDARER	"	Ⅳ	7480×6000×2500×	石川 平八郎	諸磯
	636	CARINA Ⅱ	S	Ⅲ	9700×7500×2942×1770	中村 靖	シー ボニア
	662	妙 義	"	Ⅳ	7490×6100×2300×1550	八木 進	"
	663	M A X	"	V	6500×5400×2040×1400	原 与志胤	(小網 代)
	664	T O S H I	"	V	6500×5400×2040×1400	窪山善右衛門	シー ボニア
	665	ト キ ワ	"	Ⅲ	10800×9000×3320×1360	加藤 卓二	横浜
	666	LADONNA Ⅱ	"	Ⅳ	7490×6750×2200×1450	田中 淳	シー ボニア
	667	KAYSEVEN	"	Ⅱ	13500×	栗林 定友	油壺
	668	AURORA	"	V	6500×5400×2040×1400	船越 康男	(小網 代)
	669	SAMOA Ⅱ	"	Ⅳ	7490×6100×2300×1550	大石 巖	シー ボニア
	670	ROCINANTE Ⅲ	"	Ⅱ	46' 10"×	大口 一英	油壺
	671	智 虎	"	Ⅳ	21' 00"×20' 00"×7' 60"×4' 90"	小熊 勇	(沼津)
	672	MANDARIN DUCK	"	Ⅳ	7490×6100×2300×1550	富永 幸太郎	シー ボニア
	673	CHICADAMAS	"	Ⅲ	10700×9000×3054×1900	竹脇 無我	"
	675	J O Y	"	Ⅳ	7490×6100×2300×1550	高野 和郎	"
	内海	66	伊邪那美	"	V	6100×5066×2000×1400	貝島 寿夫
523		ARTEMIS	"	Ⅲ	37' 5½"×27' 10"×10' 10½"×6' 30"	上東 保	神戸
529		H A W K	"	Ⅳ	7200×5400×2280×1460	橋本 景之	一
530		E X P O' 7 0	"	Ⅳ	8300×6200×2560×1550	増村 幸夫	一
531		来 国 光	"	V	6500×5400×2040×1400	橋本 公宏	

あ と が き

華やかな「海の季節」の幾多の思い出が栗色の肌でいまなお秘められて、時折楽しく思い出されていることと存じます。

そのためか、この「NOROニュース」の記事になるようなこと柄が少なかつたとみえて、ご覧のような内容の乏しいものになりました。今後は余り「ニュース」という文字にとらわれることなく、会員の参考になりそうなこと、会員が興味や関心を持っているようなものなら、なんでも寄せていただければ幸甚に存じます。

次の〆切は11月30日でありますのでよろしくお願いいたします。

(高 村 記)

1969 / 夏祭り収支計算書

収 入	参 加 料 (特 別 会 員)	9 2,0 0 0
	" (正 準 会 員 及 一 般)	1 4 3,0 0 0
	特 志 (現 金)	3 1,0 0 0
	計	2 6 6,0 0 0
支 出	賞 品 代 (アイスクラ-他 松屋扱)	2 5,9 2 0
	" (セ-ルバック 大原扱)	5,0 0 0
	花 火 代 (仕掛花火他 中戸扱)	1 5,0 0 0
	お つ ま み 代 (松坂屋扱)	3 0,0 0 0
	紙 皿 紙 コ ッ プ 代 (")	5,4 0 0
	参 加 記 念 品 代 (スミノカップ 370個)	3 5,5 2 0
	ニツカウキスキ- (36本 @900)	3 2,4 0 0
	ビ-ル (朝日、200本@130 シーボニア扱)	2 6,0 0 0
	夜食用サンドウイツチ (450個@200 ")	9 0,0 0 0
	昼食用ハヤシ・カレー (450人分@200 ")	9 0,0 0 0
	ビ-ル 冷 し 料 (500本@20 ")	1 0,0 0 0
	コ-ラ " (300本@10 ")	3,0 0 0
	コカコーラ 代 (180本@38福留扱)	6,8 4 0
	謝 礼 金 (テント、机、椅子借用分 白井扱)	3,0 0 0
	" (作業船借用分 福留扱)	3,0 0 0
	印 刷 代 (開催通知他)	1,9 5 0
	消 耗 品 代 (リボン 安全ピン、食券台紙、 バイレンロープ)	2,8 9 0
	水 差 し 弁 償 代 (シーボニア扱)	5,8 0 0
	雑 費 (電池他、向井扱)	2,0 0 0
	計	3 9 3,7 2 0

差 引 超 過 額 1 2 7,7 2 0

参 考

昭和44年度成立予算額 {	収 入	1 5 0,0 0 0
	支 出	2 5 0,0 0 0

THE HISTORY OF THE

1789	1789	1789	1789
1790	1790	1790	1790
1791	1791	1791	1791
1792	1792	1792	1792
1793	1793	1793	1793
1794	1794	1794	1794
1795	1795	1795	1795
1796	1796	1796	1796
1797	1797	1797	1797
1798	1798	1798	1798
1799	1799	1799	1799
1800	1800	1800	1800
1801	1801	1801	1801
1802	1802	1802	1802
1803	1803	1803	1803
1804	1804	1804	1804
1805	1805	1805	1805
1806	1806	1806	1806
1807	1807	1807	1807
1808	1808	1808	1808
1809	1809	1809	1809
1810	1810	1810	1810
1811	1811	1811	1811
1812	1812	1812	1812
1813	1813	1813	1813
1814	1814	1814	1814
1815	1815	1815	1815
1816	1816	1816	1816
1817	1817	1817	1817
1818	1818	1818	1818
1819	1819	1819	1819
1820	1820	1820	1820
1821	1821	1821	1821
1822	1822	1822	1822
1823	1823	1823	1823
1824	1824	1824	1824
1825	1825	1825	1825
1826	1826	1826	1826
1827	1827	1827	1827
1828	1828	1828	1828
1829	1829	1829	1829
1830	1830	1830	1830
1831	1831	1831	1831
1832	1832	1832	1832
1833	1833	1833	1833
1834	1834	1834	1834
1835	1835	1835	1835
1836	1836	1836	1836
1837	1837	1837	1837
1838	1838	1838	1838
1839	1839	1839	1839
1840	1840	1840	1840
1841	1841	1841	1841
1842	1842	1842	1842
1843	1843	1843	1843
1844	1844	1844	1844
1845	1845	1845	1845
1846	1846	1846	1846
1847	1847	1847	1847
1848	1848	1848	1848
1849	1849	1849	1849
1850	1850	1850	1850
1851	1851	1851	1851
1852	1852	1852	1852
1853	1853	1853	1853
1854	1854	1854	1854
1855	1855	1855	1855
1856	1856	1856	1856
1857	1857	1857	1857
1858	1858	1858	1858
1859	1859	1859	1859
1860	1860	1860	1860
1861	1861	1861	1861
1862	1862	1862	1862
1863	1863	1863	1863
1864	1864	1864	1864
1865	1865	1865	1865
1866	1866	1866	1866
1867	1867	1867	1867
1868	1868	1868	1868
1869	1869	1869	1869
1870	1870	1870	1870
1871	1871	1871	1871
1872	1872	1872	1872
1873	1873	1873	1873
1874	1874	1874	1874
1875	1875	1875	1875
1876	1876	1876	1876
1877	1877	1877	1877
1878	1878	1878	1878
1879	1879	1879	1879
1880	1880	1880	1880
1881	1881	1881	1881
1882	1882	1882	1882
1883	1883	1883	1883
1884	1884	1884	1884
1885	1885	1885	1885
1886	1886	1886	1886
1887	1887	1887	1887
1888	1888	1888	1888
1889	1889	1889	1889
1890	1890	1890	1890
1891	1891	1891	1891
1892	1892	1892	1892
1893	1893	1893	1893
1894	1894	1894	1894
1895	1895	1895	1895
1896	1896	1896	1896
1897	1897	1897	1897
1898	1898	1898	1898
1899	1899	1899	1899
1900	1900	1900	1900

THE HISTORY OF THE

1899